

2 学期終業式 校長講話

学校には3つの学期があつて、その中でも2学期が一番長い、という話を依然したと思いますし、皆さんもどこかで聞いたことがあると思います。その長かった2学期も今日が終業式です。どうですか、振り返って。とても短く感じました。あ、校長先生は短く感じましたが、皆さんはどうでしたか。

1学期は慣れない中学校生活に戸惑いの連続だった1年生も、もうすっかり弥富中の一員となりました。2年生は、今、その弥富中学校を引っぱっていく存在になっています。2学期に出かけた広島で見たり聞いたりしたことは、きっとこれから先の自分の生き方の中に大きな影響を与えたことでしょう。そして、そんな下級生に道筋をつけてくれたのが、3年生です。特に学校祭ではその後姿で後輩たちを引っぱってくれました。こんなふうに、さまざまな場面で大きな成長を見せてくれた2学期でした。

そんな2学期も終わりに近づいた先日、ちょうどこの場所で、皆さんも今座っているその場所で、オリンピックで金メダルをとった選手から直接お話を聞くことができました。ソフトボールの馬渕さんです。今日この後、教室に戻ったら、担任の先生からこのような「道徳だより」を配ってもらえると思います。ここに何人かの感想が紹介してありますが、その中にこんな言葉があります。

「最初にオリンピック金メダリストが来るなんてうそだと思っていましたが、金メダルが回ってきた時はびっくりしました」そうですね。本物の金メダルを見てさわることができるなんてないですもんね。

そして、その金メダルをとった馬渕さんが、「オリンピックに出たい」という夢をもち、そのために素振りを700回したり本気になるという気持ちをもったりという話も聞きました。皆さんは馬渕さんのどんな言葉が心に残っていますか。教室での道徳の時間に『馬渕智子物語』として読んだ話が、実際に馬渕さんから話を聞いたことで、馬渕さんがしてきたことが現実のものとなって心に届き、自分自身と重ね合わせた人も多かったのではないのでしょうか。必ずしもソフトボールに限った話ではなく、スポーツの分野でもその他の自分の好きな分野でも、自分の夢について考えるよい時間をいただいたともいます。

馬渕さんから話はそれますが、「夢」ということで、ひとつ紹介したいものがあります。それは、これです。ここにはびっしりと文字が書かれています。皆さんの方からは見えないと思いますから、読んでいきますね。まず、ここに「2010.12.6」と書いてあります。そう、2010年12月6日です。ちょうど8年前の今ごろですね。そしてその横に名前が書いてあります。「大谷翔平」と。そ

う、これは今年アメリカの大リーグで“二刀流”といってピッチャーと打者の両方で大活躍をした大谷翔平選手が高校の時に書いた「夢マップ」というものです。呼び方はいろいろありますが、自分の夢を真ん中に書いて、その夢を実現するために何をしなければいけないかを、周りに書いていくものです。皆さんなら、ここに何を書きますか。あ、今、とてもよいものを見ました。「皆さんならここに何を書きますか」と聞いた時に、何人かの子が上を見上げたり、下を向いて考えたりしてくれました。すぐに夢について考えてくれたことをうれしく思いました。

大谷選手は真ん中に「ドラ1 8球団」と書きました。ドラ1。ドラフト1位指名という意味ですが、プロ野球に入団する時に各球団が希望する選手を指名するんですが、その時に1位で指名される選手になりたい、それも8つの球団から、という夢をもっていたそうです。そして、その周りに書いたのが、「体づくり」「コントロール」「キレ」ボールのキレですね。「スピード160km/h」「変化球」運「人間性」「メンタル」の8つです。野球に必要な技術だけでなく、運や人間性も書いているところがおもしろいですね。そして、この8つをさらに外側のマスの中心に書き、それを実現するためにがんばることを、また8つずつそれぞれについて書いています。例えば「スピード160km/h」では、これは、投げるボールのスピードが時速160kmのスピードのあるボールを投げるというものです。そのために大谷選手は、「下半身の強化」や「体重を増やす」「肩まわりの強化」などを書いています。おもしろいのが、さっきも言った「運」です。この言葉の周りには「あいさつ」「ごみ拾い」「部屋そうじ」「審判への態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」と書いています。大谷選手は運も味方につけるためにこんなことを日頃から心がけていたんですね。すべてを紹介することはできませんのでこれくらいにしておきますが、インターネットで「大谷翔平、夢マップ」で検索するとこういう画像も出てきますので、よかったら調べてみてください。

さあ、明日から冬休みです。夏休みほどの長さはありませんが、毎日の時間は学校に通っている今よりも少しゆとりがあると思います。そんな時間に、少し「夢」について考えてみませんか。遠い将来の夢でもいいし、身近なところの夢でもかまいません。そして、それを考えたら次は、それを実現するために、叶えるために何をすればよいかを考えてください。そして、冬休み中にその夢に向かう第一歩を踏み出してみてください。年が明けた1月に、そうやって一歩踏み出した皆さんに、ここで会いたいと思います。楽しみしています。